

認知症地域資源連携検討事業
平成 25 年度 第 2 回 認知症地域支援体制推進全国合同セミナー

～認知症の本人と家族を地域で支える体制を築いていくために～

認知症介護研究・研修東京センター

プログラム

【1 日目】 10 月 17 日（木）

※1 日目の座席：都道府県混合・市区町村/地域混合

時 間	内 容
13:30 ～ 13:45	<p>○あいさつ</p> <p>○今回のセミナーのねらい</p>
13:45 ～ 15:15	<p>1. 認知症の人と家族を地域で支えあう体制を築いていくためのポイントと工夫の実際</p> <p>◆各地の担当者が語る自地域の取組みのポイントと工夫：その1</p> <p>1) 認知症の人の経過にそった連携と支援体制作り （資料 1）</p> <p style="text-align: right;">京都府舞鶴市保健福祉部高齢者支援課 児玉 智子さん 船原理恵子さん</p> <p>2) まちで、みんなで認知症の人をつつむ （資料 2）</p> <p style="text-align: center;">～認知症の人が地域で生き生きすることを支えるために～</p> <p style="text-align: center;">小地域（校区）で暮らす人々とともに進める</p> <p style="text-align: center;">計画作りと多職種協働・地域協働</p> <p style="text-align: right;">福岡県大牟田市保健福祉部長寿社会推進課 吉澤 恵美さん 福岡県大牟田市中央地域包括支援センター 猿渡 進平さん</p> <p>○質疑応答</p>
15:15 ～ 15:30	休 憩
15:30 ～ 17:15 (途中休憩あり)	<p>2. 他地域の情報を活かそう （ワークシート 1・グループメモ）</p> <p>1) 個人ワーク</p> <p style="text-align: center;">前半の情報をもとに自分や地域に「活かしたい点」を整理してみよう。</p> <p>2) グループワーク</p> <p style="text-align: center;">他地域のメンバーと話しあおう</p> <p style="text-align: center;">(1) 情報交換：各地域の取組みの特徴と課題 「活かしたい点」</p> <p style="text-align: center;">(2) 討 議：今後の取組みのできる工夫</p>
17:15 ～ 17:30	3. 本日のまとめと明日のオリエンテーション

■17:30 ～ 19:00 報告者、参加者同士の情報交換、ネットワーキングの時間です。ぜひご参加ください（自由参加）。

【2日目】10月18日（金）

※2日目の座席は、自地域/近隣地域ごとに（終日）

時 間	内 容
9:30 ~ 9:40	○1日目の振り返り
9:40 ~ 10:40	4. 他地域情報を自地域の今と今後活かそう（ワークシート2） 1) セミナー1日目の情報や知見をもちより、話しあおう （1）自地域の取組みに活かしたい他地域の取組み情報の共有 （2）他地域の取組み情報をどのように自地域に活かせるか
10:40 ~ 10:50	休 憩
10:50 ~ 12:00	2) わが町にいる人・あるものがつながるためのアクションを生み出すプロセスと工夫の実際（資料3） ◆各地の担当者が語る自地域の取組みのポイントと工夫：その2 新潟県湯沢町 地域包括支援センター 國松 明美 さん 新潟県湯沢町認知症地域支援プロジェクト 「アクション農園倶楽部」団長 丸山 静二 さん ○質疑応答
12:00 ~ 13:00	昼 休 憩・ネットワーキング <各地域等の参考資料の閲覧>
13:00 ~ 15:45 (途中休憩あり)	5. 認知症の人が暮らす流れにそった地域支援体制づくり 1) 認知症施策を着実に進めていくための基盤としての地域支援体制づくり：全国各地の取組み情報を活かしながら 情報提供：認知症介護研究・研修東京センター 2) グループワーク （1）得られた他地域情報をとことん自地域に活かそう （2）今後の自地域の取組みの補強策を具体的に検討しよう （3）実際の取組みを進めていく上でもっと知りたいことは何か 6. 地元に戻って、よりよい取組みを進めるために ・今後の取組みのアイデア・ヒントを全体で情報交換 ・「知りたいこと」Q&T 参加者・報告者、全員でアイデアを出そう
15:45 ~ 16:00	○まとめ ○今後について